

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		療育支援工房 西新教室		公表日 令和8年2月20日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	3	生徒士具を見守れるように、少ない職員で様子を見る場合は1つの部屋に集めるなど環境を臨機応変に変化させている。	死角が発生しやすい構造になっており、2階も生徒の活動スペースとなっているため少ない職員でどう回していくか検討していく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	3	生徒数や当日来室される生徒に応じて職員の配置を調整し、支援が行き届けられるようにしている。	送迎の兼ね合いで職員数が減って、支援が十分行き届かない場合があるため、教室をどう回していくか検討していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	ホワイトボードやフリップカードを使い、生徒が何をすべきか見通しを立てられるようにしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	生徒が降所された後に掃除や除菌を行い、次回利用まで清潔に保つことができています。	送迎等で掃除が翌日になってしまった場合、生徒の来室ギリギリになってしまうこともあるためスムーズな環境整備ができるよう検討していく
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	環境音が気になる生徒や気持ちを落ち着かせる必要がある生徒に対して個別の場所を提供し問題解決を図っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1		業務改善の提案などをミーティングで行っているが、振り返りを十分に行えていないため、振り返りまで共有していく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	職員面談やミーティング等で業務改善になるための意見を提案してもらい、繋げている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	2		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	支援内容や目標について保護者様と確認し計画を行っている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	保護者様からの情報を基にアセスメントを見直し、計画を更新している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	計画書更新の際に、児童官のみではなく教室全体で生徒の支援に関わる計画作りを行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	職員間で共有を行い、計画に沿った内容で支援していくようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	定期的に目標や計画に対してどうであったかをモニタリングし、見直しや更新を行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	職員からの強制的な促しや決めつけなどは行わず生徒がどうしたいか聞き取り、対応している。	新入職員や入社して日の浅い職員には難しい場面もあるため、ミーティング等で支援についての方法を共有していく。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	職員間で生徒のことについて情報共有することで生徒の状況をしっかり理解できたうえで会議に臨んでいる。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	4	しんかんがある生徒など医療機関との連携が必要な場面に対し、どう行動するか共有している。	職員によって把握ができていない職員がいる為、情報の統一を行う必要がある。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	行事や下校時間の確認を保護者様と一緒にを行い、送迎漏れがないよう努めている。	連絡事項について、学校職員から支援員に引き継ぎの際に少し話す程度で終わってしまっているのでもっとしっかりと情報を連携できるよう心がけていきたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	4	るかななどの情報を共有し、就学前でも十分な支援ができるよう努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域他のこどもと活動する機会があるか。	0	5		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	送迎時や電話などを通じて、生徒の様子や状況をお伝えしている。	その日利用された職員全員が起こった事例について周知できるよう連絡、報告を徹底していく。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	運営規程や支援内容、利用者負担について説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	面談や担合などで保護者や生徒のニーズを確認する機会を設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	保護者からの相談、希望を聞き取り、解決に繋がる事項をお答えしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	5		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	1	4	おこつた事案について職員に確認した後、謝罪を行い、今後の対策についてもお伝えできるよう心掛けている。	苦情について職員が把握していない場合があるため、迅速な対応をするために情報の共有を徹底していく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	外部に個人情報を持ち出さないよう職員に共有し、徹底している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	視覚的、聴覚的に意思疎通、情報伝達をしていく環境整備を整えている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	利用開始前に収集できる情報は全て確認している。利用途中で服薬が必要な場合は保護者に確認を取り、不明な事項が無いようにしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	アレルギーのある生徒の情報を収集し、代替案や対策を保護者に提案している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	2		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	近日中に起きたヒヤリハットを共有し、対策や防止について話し合っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	年に一度虐待防止の研修を行い、職員全員の意識を持ってもらっている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0			